

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施にあたっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問合せなどありましたら、下記の問合せまでご連絡ください。

記

	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2010年12月
研究期間	2011年1月～2019年12月(更新予定)
研究の名称	一般社団法人 National Clinical Database (NCD、日本臨床データベース機構)への手術・治療情報登録による観察研究(NCDにおける外科手術・治療情報データベース事業の一環)
研究対象	当院にて外科手術、心臓血管手術、脳神経外科手術、循環器内科でのカテーテル治療をお受けになった患者
対象材料	既存の診療情報
対象期間	2011年1月～2020年12月(更新予定)
研究の目的意義	わが国における外科系医療の現状を把握するため、専門医制度と連動した手術症例の登録を全国規模で行い、入力率の高いデータベースを構築します。得られたデータより、手術成績からみた医療評価、手術リスク評価、さらに、各施設の成績と全国平均との比較も可能であり、個々の施設での医療の改善に役立つ情報が提供されます。手術だけでなく、癌登録データとしての機能も付加されおり、乳癌、膵癌、肝癌の全国データを集積し、がん診療の発展に寄与する。この他、診療報酬改定への発信を含め、国民に最善の医療を提供するための政策提言に大いに役立ちます。
方法	2011年1月1日以降におこなわれた手術・治療からデータベースに登録します。日本全国の参加施設診療科からインターネットを介して中央の組織にデータを集めます。データ登録のためのウェブサイトを開設し、参加施設診療科のデータ登録担当者が手術・治療の情報を登録します。データ登録担当者はNCDから認証を受けた診療科のスタッフです。収集されたデータは、各種委員会が討議した上で活用されます。各施設診療科は自科の治療成績を、全国の治療成績や欧米施設の治療成績とくらべてみることで、自施設の手術・治療の質の向上をはかるための貴重な資料となります。また、手術前にどの程度、死亡や合併症の危険性があるかを知ることができるので、治療方針を決める際の資料とすることもできます。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、個人情報を消去し匿名化を行ったのちに登録されます。研究結果から個人が特定されることはありません。
問い合わせ先	市立豊中病院 外科 TEL 06-6843-0101(代表)